

8月31日 市木小児童がSUPをしながら地域の自然を満喫



SUPを楽しむ児童たち

市木小学校の5、6年生14人は、近くの市木川でスタンドアップパドルボード（SUP）を体験しました。県ライフセービング協会代表理事の藤田和人さんが、救命胴衣を着用した状態で水の浮き方やボードの乗り方を指導。その後児童たちは約3キロ先の石波海岸河口に向けて出発しました。最初はボードの上でバランスを取るのに苦戦していましたが、慣れてくると立つなどして自然の豊かさを感じながら約1時間かけてSUPを満喫しました。5年生の匹田優月さんは「初めて体験したがうまくこげて楽しかったし景色もきれいだった。またやってみてみたい」と笑顔で話していました。

9月1日 地域資源を活用した健康増進プログラムを考案するワークショップ開始

本市は「100歳健康増進運動事業」で、地域資源を活用した健康増進プログラムを市民主導で考案するワークショップを開始しました。市民の健康増進や市外からの誘客を目的に、10月までの全3回を通して市内の市民団体などの代表らが集まって意見を出し合い、来年度以降の実装に向けてプログラムを検討していきます。初回は地域活性化支援に取り組む「株式会社さとゆめ」が講師となり、山形県や長野県での先進事例を紹介。その後、班ごとに市内の施設や自然などで活用できるもの、足りない物を挙げ、最後に全体で発表し合いました。環境ボランティア団体「環の会」代表の河野幸子さんは「串間の魅力や課題を再確認できた。地域資源をうまく生かした内容を考えていきたい」と話していました。



意見を出し合う参加者ら

9月2日 本城小児童が伝統芸能の千野棒おどりを学ぶ



保存会の稲本さんの指導を受けながら練習に励む児童たち

本城小学校の5、6年生は、本城地区の伝統芸能である「千野棒おどり」の練習を開始しました。練習を重ねて同月24日の運動会で披露。千野棒おどりは古流武術を原型として江戸時代に生まれ、約300年前から同地区で傳承されています。初回は千野棒おどり保存会の稲本民雄さんらが、2種類ある舞のうち、6尺棒、3尺棒を使う6尺踊りを指導。児童たちは「ハイ、エイ」などと元気に声を上げながら棒さばきの練習に励んでいました。6年生の井上大雅くんは「最後の運動会になるので、一生懸命練習してかっこよく踊りたい」と話していました。

8月12日 串間の新たな落葉果樹を目指し初の収穫



来年へ期待を込め日々手入れをしています

土木・建築業の傍ら、2年前から本格的にブドウの栽培を始めた花立満男さんが今年初の収穫作業を行いました。「孫を喜ばせようと5年前に2本植えたのがきっかけ。今のを充実させていいものを作りたい」と花立さん。現在、奥さんの美紀子さんなど3人でピオーネ、シャインマスカット、巨峰、涼香、グロスクローネを栽培しています。花立さんの細かく行き届いた管理が幹のいい成長へとつながり、今年約1,000房をJA串間市大東に出荷し、Aコープ大東店や道の駅「くしま」などで販売。来年には約3,000房の収穫を目指しています。

8月19日 コンテナホテル整備の企業立地協定締結

本市は、市内にコンテナホテルを整備する株式会社南部環境クリーンセンターと企業立地協定を締結しました。施設は市の中心部に建設され、ベッドやユニットバスなどを備えた1室あたり広さ13平方メートルのコンテナが18室設置されます。また、風呂や飲み物用のお湯を沸かすためなどの燃料は、地域資源の活用と環境への配慮から木質バイオマス（廃材）が使用されます。同社の榎田昭彦社長は「市と連携して運動公園を利用する方などの宿泊を取り込み地域活性化に貢献したい」と話していました。



操業は9月下旬予定です

8月23日 全国高校総体柔道100キロ級3位の井手翔真さん表敬



今後の活躍が期待されます

本市出身で延岡学園高校3年生の井手翔真さんが、8月に行われた全国高校総体（インターハイ）の男子柔道100キロ級で3位の成績を収めたことを市長らに報告しました。井手さんは年長から柔道を始め、昨年出場した全国高校総体では惜しくもベスト16という結果に。その悔しさをバネに普段の練習以外にも走り込みなどの自主練習に励み、その成果が今回の結果につながりました。井手さんは「優勝を狙っていたので悔しさもあるが全国で初めて結果を残せてうれしかった。大学では一からまた頑張っていきたい」とさらなる活躍を誓いました。